

BPT(バイオマスプロジェクトチーム)だより No.24

http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/e_ichihai/bio/biotop.htm



平成18年10月31日(火)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 米国・ウィスコンシン州の友好使節団来葉について

千葉県と米国ウィスコンシン州は平成2年から姉妹県州の提携をしており、バイオマス分野でも使節団の相互交流があります。

今年はウィスコンシン州より使節団が来葉し、10月10日から13日まで県内のバイオマス利活用施設の見学等を行いました。

○10月10日(火)

香取市にある、農林水産バイオリサイクル事業施設である山田バイオマスプラントを見学し、メタン発酵、バイオガス自動車等の取り組みを紹介しました。

その後、香取市内でワークショップを開催し、バイオマスの取り組みに関して意見交換を行いました。

○10月11日(水)

11日から13日まで幕張メッセで開催された「再生可能エネルギー2006 国際会議」に参加しました。

午後は、同時期に開催された「第1回新エネルギー世界展示会」の視察を行いました。

○10月12日(木)、13日(金)

12日は木更津市の(株)かずさクリーンシステムと袖ヶ浦市の(株)荏原製作所袖ヶ浦技術開発試験所を、13日は船橋市のサッポロビール(株)千葉工場と千葉市のジャパン・リサイクル(株)を見学しました。



山田バイオマスプラントにて



新エネルギー世界展示会会場にて



施設の説明を受ける使節団

2. 事業の進捗状況等

○新エネルギーセミナー

10月12日、千葉市内ホテルにて、商工労働部経済政策課と産業振興センターの主催による新エネルギーセミナーが開催されました。

当日は、約120名の参加があり、経済政策課から「産業の集積促進に向けたプラン」と「新エネルギー産業振興協議会の設置」について、バイオマスプロジェクトチームから「千葉県のバイオマスの利活用の取組」について説明しました。

県では、この取組を推進し、地域産業の育成や資源循環型社会の構築を図っていきます。



新エネルギーセミナー

○バイオマス利活用施設の視察

10月26日、埼玉県中川水循環センター内に埼玉県、東京ガス（株）により設置されている、下水汚泥を用いたガス化発電システムの実用化研究施設の見学会を開催しました。

このプラントは、下水汚泥の処理と同時にエネルギーを取り出すことができ、従来のものよりガス化効率が高いという長所があり、ガス化後の残さは通常の汚泥焼却後のものとほぼ同等であるとの説明がありました。

今後は、実用化に向けてさらに試験を進めていくとのことです。



下水汚泥ガス化発電システムの視察

3. 普及啓発活動について

○山武市立山武南中学校におけるバイオマス環境学習（3）



廃食用油を使ったロウソクの作成

10月5日の環境学習では、生徒たちは地域のバイオマス利用に係る3つのテーマ（土づくり、エネルギー利用、森林資源の利用）分かれて、グループでの体験やフィールド学習が行われました。

バイオマスプロジェクトチームは「エネルギー利用」として廃食用油を利用したバイオマスロウソクの手作り体験を指導しました。

色とりどりでお洒落なロウソクづくりに熱中する班があったり、今までは捨てていた油から燃料ができることに興味を持った生徒がいました。